

参加無料 | 当日先着 50 名

トークイベント

札幌から始まる アートでつなぐ サイエンス

『サイエンスコミュニケーションと
アートを融合する』

奥本 素子 + 朴 炫貞

北海道大学
CoSTEP 准教授

北海道大学
CoSTEP 特任講師

6. 29 木
18: 30- 20: 00

札幌市民交流プラザ 1 階
SCARTS コート



「サイエンスコミュニケーション」は、科学と社会の間をつなぐ活動です。北海道大学には全国的にも珍しいサイエンスコミュニケーションを専門に教育、研究する CoSTEP（コーステップ）という組織があります。CoSTEP では科学的な表現だけでなく、「アート」を介して科学を発信する試みも行っています。

その活動の中には、札幌で開催されたテオ・ヤンセン展とのコラボレーションや、札幌文化芸術交流センター SCARTS（札幌市芸術文化財団）で実施された科学とアートをテーマにした高校生向けワークショップもあり、大学と文化施設が協力して全国的に見ても先駆的な取り組みがなされます。

アートは科学を考える際にどのような役割を果たすのでしょうか？そして今後、どのように展開していくのでしょうか。今回のトークセッションでは、『サイエンスコミュニケーションとアートを融合する（ひつじ書房）』という書籍からアートを通じたコミュニケーションの効果や事例を紹介しつつ、アートでサイエンスと社会をつなぐ可能性について本書の執筆者2名と共に探っていきます。

関連ワークショップ

トークに関連したワークショップを開催します。
詳細はこちらのQRコードからご確認ください。



奥本 素子

北海道大学 CoSTEP 准教授

博物館や科学技術コミュニケーションをテーマに、日常の中から学ぶインフォーマルラーニングを研究している。主な著書に『まだ見ぬ科学のための科学技術コミュニケーション』（共同文化社 2022、共著）、『おしゃべり科学』（カンゼン 2014）などがある。



朴 炫貞

北海道大学 CoSTEP 特任講師

アーティスト。アートを通じたサイエンスコミュニケーションを行いながら、アート作品の制作や、アートプロジェクトを企画/実施している。最近の作品として Sapporo Parallel Museum の「ハシのトキ」や、「アノオンシツ」（2020～現在）などがある。

問い合わせ

〒060-0817 北海道札幌市北区北 17 条西 8 丁目
北海道大学 高等教育推進機構 N163A 室
costep_office@ml.hokudai.ac.jp
TEL: 011-706-5320